

## ○千葉県行政組織条例（昭和32年9月10日条例第31号）（抜粋）

## 第四章 附属機関

## （設置等）

第二十八条 県に別表第二上欄に掲げる附属機関を置き、当該附属機関において担任する事務は、同表下欄に掲げるとおりとする。

- 2 前項に規定するもののほか、県に、麻薬及び向精神薬取締法（昭和二十八年法律第十四号）第五十八条の八第三項の規定により知事が措置入院者につき入院を継続する必要があると認めるときに、千葉県麻薬中毒審査会を置くものとする。
- 3 社会福祉法第十二条第一項の規定により、千葉県社会福祉審議会（同法第七条第一項に規定する審議会その他の合議制の機関をいう。）に児童福祉に関する事項を調査審議させる。
- 4 千葉県がん対策審議会に、がん登録等の推進に関する法律（平成二十五年法律第百十一号）第十八条第二項、第十九条第二項、第二十一条第十項並びに第二十二条第二項及び第四項並びにがん登録等の推進に関する法律施行令（平成二十七年政令第三百二十三号）第六条第三項（同令第八条第二項において準用する場合を含む。）の規定により意見を具申させ、並びにがんの早期発見及び治療の普及を図るために必要な調査研究を行い、これらに関して必要と認める事項を知事に答申し、又は建議させる。
- 5 千葉県指定難病審査会に、難病の患者に対する医療等に関する法律（平成二十六年法律第五十号）第七条第一項に規定する支給認定に関し知事が必要と認める事項について意見を具申させ、並びに特定疾患治療研究事業、特定疾患特別介護手当支給事業及び肝炎治療特別促進事業に関する事項を審査させる。
- 6 千葉県小児慢性特定疾病審査会に、児童福祉法第十九条の三第三項に規定する医療費支給認定に関し知事が必要と認める事項について意見を具申させ、並びに小児慢性特定疾患治療研究事業及び先天性血液凝固因子障害等治療研究事業に関する事項を審査させる。

一部改正〔昭和三三年条例二五号・三九年三二号・六〇年三三号・平成二年三八号・八年二六号・一二年一〇号・五三号・六九号・一五年九号・七一号・一九年一一号・二六年四四号・二七年六五号〕

## （組織等）

第二十九条 前条第一項の規定により設置された附属機関の組織、委員の構成、定数及び任期は、別表第三のとおりとする。

- 2 法令の規定により設置された附属機関のうち、その組織等について条例で定めることとされている各附属機関の組織、委員の構成、定数及び任期は、別表第四のとおりとする。

一部改正〔昭和三三年条例二五号・三九年三二号・六〇年三三号・平成一七年一三号・一九年一一号〕

## （会長及び副会長）

第三十条 会長又は委員長（以下「会長」という。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」という。）は、委員の互選によつてこれを定める。

- 2 会長は、当該附属機関の事務を総理し、当該附属機関を代表する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。
- 4 副会長が置かれていない附属機関（千葉県障害者介護給付費等不服審査会を除く。）にあつては、会長に事故のあるとき又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指定する者が会長の職務を代理する。

一部改正〔昭和三九年条例三二号・平成一八年七号〕

## （委員の任命等）

第三十一条 委員は、知事が任命又は委嘱する。

- 2 委員に欠員を生じた場合の補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

一部改正〔昭和三九年条例三二号〕

## （会議）

第三十二条 附属機関の会議は、必要に応じて会長が招集し、会長が会議の議長となる。

- 2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ、開くことができない。

- 3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。ただし、障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例（平成十八年千葉県条例第五十二号）第二十六条に規定する訴訟の援助に係る会議の議事は、出席委員の三分の二以上の多数をもって決する。

一部改正〔昭和三十九年条例三二号・平成一九年一一号〕

（合議体）

第三十二条の二 千葉県介護保険審査会に係る介護保険法（平成九年法律第二百二十三号）第百八十九条第三項に規定する同条第二項の合議体を構成する委員の定数は、三人とする。

追加〔平成二六年条例七号〕

（部会）

第三十三条 附属機関は、その定めるところにより、部会を置くことができる。

- 2 部会に属すべき委員は、会長が指名する。
- 3 部会に部会長を置き、部会に属する委員の互選によつてこれを定める。
- 4 部会長は、部会の事務を掌理する。
- 5 部会長に事故があるときは、あらかじめ部会長の指名する当該部会に属する委員がその職務を代理する。
- 6 附属機関は、その定めるところにより、部会の議決をもつて当該附属機関の議決とみなすことができる。ただし、第三十二条第三項ただし書の訴訟の援助の審議に関しては、この限りでない。
- 7 第三十二条（第三項ただし書を除く。）の規定は、部会の会議について準用する。この場合において、同条中「附属機関」とあるのは「部会」と、「会長」とあるのは「部会長」と、「委員」とあるのは「当該部会に属する委員」と読み替えるものとする。

追加〔昭和三六年条例三一号〕、一部改正〔昭和三十九年条例三二号・平成一九年一一号・二六年七号〕

（会議の運営等）

第三十四条 この条例で定めるもののほか、附属機関の議事及び運営に関し必要な事項は、会長が定める。

一部改正〔昭和三十九年条例三二号〕

（規則への委任）

第三十五条 別に規則で定めるところにより、附属機関に特別委員、専門委員、臨時委員、顧問又は参与を置くことができる。

- 2 各附属機関の庶務は、規則で定める機関においてこれを処理する。

一部改正〔昭和三十九年条例三二号〕

#### 別表第二

附属機関名	担任する事務
千葉県水産振興審議会	水産資源の維持及び増大、水産物の加工、流通及び販売並びに海面の利用の調整に関する事項その他の水産業の振興に関する重要事項について調査審議し、これに関し必要と認める事項を知事に答申し、又は建議すること。

#### 別表第三

附属機関名	組織	委員の構成	定数	任期
千葉県水産振興審議会	会長	一 市町村長	十人以内	二年
	副会長	二 水産関係団体を代表する者		
	委員	三 学識経験を有する者		